

EZ-WIN競馬予想新聞				24.2.18 (日) 東京11R G1フェブラリーS ダ1600m 4歳上定量 15:40														指数					
間隔	総合評価点数	予想印	馬番	馬名	性別	負担重量	予想人気	相対指数	注目血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走・実績評価	前走馬体重	マイニング	対戦型
15	48	○	1	地)イグナイター	牡6	58	9		☆		A	G1	G1	地方	14	97	7	西村淳	新子雅	A	体	16	16
37	29		2	美)シャンパンカラー	牡4	58	14				B	8,14	13,2	6,5	3	104	1	内田博	田中剛		体	13	14
7	24		3	地)ミックファイア	牡4	58	10		☆			G1	地方	G1	11	79	8	矢野貴	渡辺和			14	13
7	53	×	4	栗)ドゥラエレーデ	牡4	58	3	A		▲	AA	G1	2,6	1,11	58	133	21	ムルザ	池添学	注	体	10	11
4	62	◎	5	美)オメガギネス	牡4	58	2	B	注		B	3,6	3,1	3,1	50	98	42	ルメー	大和田	A		2	1
4	35		6	栗)カラテ	牡8	58	15			C	B	4,11	3,12	4,12	3	104	2	菅原明	辻野泰		体	3	12
11	27	×	7	栗)ガイアフォース	牡5	58	6		☆	B	A	3,9	2,7	3,7	11	81	8	長岡禎	杉山晴		体	12	9
8	43		8	栗)セキフウ	牡5	58	11			▲	B	G3	14,3	G2	9	115	7	武豊	武幸四			5	6
4	29		9	栗)ペプチドナイル	牡6	58	7	B	☆			5,8	3,1	1,13	15	58	8	藤岡佑	武英智		体	6	7
3	64	▲	10	栗)タガノビューティー	牡7	58	8	B	☆			15,3	15,1	G1	9	115	7	石橋脩	西園正	注	体	9	3
7	56	×	11	栗)キングズソード	牡5	58	5	B			B	G1	G1	6,3	11	79	8	岩田望	寺島良		体	8	2
7	20	×	12	地)スピーディキック	牝5	56	12		☆		B	地方	G1	G2	3	104	1	御神本	藤原智			15	15
14	58	×	13	栗)レッドゼル	牡8	58	4	A	注			13,3	海外	15,1	27	99	21	北村友	安田隆	注		1	4
7	54	×	14	美)ウィルソンテソーロ	牡5	58	1	A			A	G1	13,1	G1	33	58	42	松山弘	小手川	A		4	4
19	60	×	15	栗)ドンフランキー	牡5	58	13	A	☆		B	G2	G3	1,4	14	96	3	池添謙	斉藤崇	A	体	11	10
3	67	★	16	栗)アルファマム	牝5	56	16		☆	C+	B	13,1	12,1	11,1	2	146	3	キング	佐々木	注		7	7

※ダート重賞では「EZ-WIN評価点数3位」で、  
2人気以内だった馬は勝率100%を継続しています。  
(このレースではオメガギネスが該当します)

### 【レースの傾向】

#### ・血統傾向(注目血統)

人気サイドは父も母父も非サンデー系(Dサンデー系は別)。

人気薄は父か母父に大系統サンデー系又はロベルト系。

逃げ馬で粘り込むのは父が「米国型ミスプロ系」

ですが、今年は該当血統馬が出ておりません。

#### ・馬格

前走馬体重が500キロ以上。

過去5年の勝ち馬4頭が該当。

3着以内馬の73.3%が該当。

#### ・前走

過去5年の3着以内馬の54.5%は

前走(重賞)で連対していた馬でした。

#### ・実績

1. 前年の武蔵野Sで、内枠から掲示板を確保

↓↓↓

フェブラリーSでの複勝率60%

※今年の該当馬はタガノビューティー

2. 東京ダ1400mの良馬場で、  
1分23秒以下、なおかつ上り3F35秒未満で勝利。

↓↓↓

この実績を持つ馬は、過去に3頭おり  
3頭ともフェブラリーで3着以内に好走。

※今年の該当馬はアルファマム

### 【予想見解】

◎5番オメガギネス

父:ロゴタイプ(サドラーズ系)

母父:ハービンジャー(デインヒル系)

祖母父:ネオユニヴァース(Dサンデー系)

祖母はドバイWCを勝ったヴィクトワールピサの全妹。

本馬の砂適性は祖母からの隔世遺伝でありましょう。

ルメール殿が

「この馬の強さはレースで戦って良く知っている。

東京マイルならこの馬のベストパフォーマンスを引き出せる。」

と自信満々。

○1番イグナイター

父:エスポワールシチー(Dサンデー系)

母父:インリアリティ系

地方馬ですが、前走の交流G1では  
JRAの上位勢に勝っており、  
2走前の南部杯マイルCSでは、  
レモンポップには子ども扱いされましたが、  
前年の覇者で、フェブラリーSも勝っている  
カフェファラオに先着しての2着に好走。  
能力的には勝ち負けできるレベルと考えます。

問題はJRAの砂に対する適性の有無ですが、  
当コースの新馬戦では、2着馬に1秒以上の大差勝ちを  
収めており、全く合わない事はないと想像しております。

近年は勢いを失くしているDサンデー系ですが、  
2020年以前は、このレースのリーディングサイアーで、  
本馬の父エスポワールシチーも、優勝馬の1頭です。

当レースの上位血統である  
米国型ミスプロ系を父に持つ馬が出走しておらず、

黄金ローテである「前走根岸S連対馬」も、  
「前走チャンピオンズカップ組」も出ていない  
ある意味「特殊なフェブラリーS」ですので、  
非常識な馬の激走があっても良いでしょう。

▲10番タガノビューティー

父:ハニーヒューズ(米ストームバード系)

母父:スペシャルウィーク(Tサンデー系)

前走はスローな流れに泣いて惨敗しましたが、  
今回は流れが向く可能性が非常に高いと思います。

人気薄の激走が多い

「米国型×サンデー系」の配合であり、

前走の敗戦だけで見限るのは早計でありましょう。

★16番アルファマム

父:マジスティックウォリアー(米APインディ系)

母父:フジキセキ(Pサンデー系)

単勝が10倍を超える人気薄は

米国型×サンデー系の配合が理想的。

前走の根岸Sはスローな流れの前有利展開に泣き、  
上り最速の末脚で追込むも8着まで。  
しかし、4角を2桁順位で通過した後方待機組では  
最先着を果たしており、ここは展開ひとつで圏内も。

ちなみに、同年の根岸Sで上り最速をマークした馬の  
フェブラリーS成績は・・・  
【1・0・2・3/6】で複勝率50%

また、注目すべきは2走前の霜月Sで見せた数字です。

- ・良馬場の東京ダ1400mで勝ち時計1分24秒以下
- ・上り3Fタイムが34秒台

この両方を満たす事が出来た馬は過去に以下の3頭のみ。

↓↓↓

- ・サンライズノヴァ
- ・モズアスコット
- ・カフジテイク

ちなみに、この3頭はいずれもG1フェブラリーSで  
馬券になった経験を持つ馬であります。

このレースでは過去10年に1頭(ソダシ)しか  
馬券に絡んでいない牝馬ですが、能力的には足りていそう。

**【馬券】**

ワイド 5-1・10・16

3連複フォーメーション24点  
5-1・10・16-印全頭